

事業概要一覧表

No.	事業番号	090-003	事務事業名	消防団一般管理	所管局	消防局	所管課	総務課	分類	C 内部管理事業	
1	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上				ターゲット	11.5,11.b			
	取組の方向性	⑤地域防災力の向上			主な取組		「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進				
	事業内容			投入量 (単位:千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	消防団・災害活動支援隊の施設及び人員を活用して、市民の生命、身体、財産を火災から保護するとともに災害を防除し、被害を軽減する。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	公設消防隊だけでは対応できない災害対応を行うため、消防団や災害活動支援隊を創設し事業の実施を行っている。火災啓発広報やコロナ拡大防止広報活動においては、最少人数にて、最大効果を発揮できるように機材を活用し、また事務においては、ペーパーレスや貸与品の価格調整などを実施し、消防力は維持したままコスト削減を図っている。		
				うち一般財源		7,932	8,570	12,389			
				主な内訳	消防団員報酬等	7,399	7,434	8,886			
					物品等購入・維持費	2,460	2,011	3,735			
					負担金	796	797	798			
					その他(役務費、使用料及び賃借料)	433	482	1,003			
人件費(b)					8,200	8,200	8,200				
年間経費(c)=(a)+(b)				19,288	18,924	22,622					
No.	事業番号	090-004	事務事業名	消防庁舎等改修事業	所管局	消防局	所管課	総務課	分類	D 建設・整備事業	
2	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容			投入量 (単位:千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	○消防庁舎建設・改修基本計画に基づく庁舎改修等 ○建築都市局建築部建築監理課の施設点検調査結果において要修理と判断されたものについての改修 ○令和3年度実績 ・美原消防署外壁改修ほか工事 ・消防局受水槽ほか改修工事 ・消防局自家発電設備用燃料タンク改修工事 ・令和4年度以降実施予定工事の設計			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	消防施設として必要不可欠なものであるため、大規模改修が短期間に集中することのないよう中長期的な庁舎の改修計画を定めており、修繕の重複をなくすことでコストを縮減し、効率的な維持管理が実施できるよう事業を行っている。		
				うち一般財源		33,288	77,317	23,308			
				主な内訳	施設等修繕料	14,972	15,238	13,482			
					改修等工事	85,511	103,329	29,815			
					設計工事監理委託	4,444	11,928	3,300			
					機械・機器等借上料	4,998	0	0			
その他					63	22	511				
人件費(b)				12,300	12,300	12,300					
年間経費(c)=(a)+(b)		122,288	142,817	59,408							

事業概要一覧表

No.	事業番号	090-005	事務事業名	消防署所等施設整備事業	所管局	消防局	所管課	総務課	分類	D 建設・整備事業	
3	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	取組の方向性	①計画的な長寿化の推進			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
	○管内情勢に応じた総合的・効果的な消防施設及び中期的計画に基づき、優先的に実施すべき消防署における建替設計業務及び消防署建替検討業務を実施した。					事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	災害等における防災拠点として有効に機能させるため、消防庁舎建設・改修基本計画に基づき、耐用年数50年を超える消防施設等の中から優先度の高い消防施設について、建替等に必要設計業務及び建替検討業務を実施する。 本業務の中で、消防行政における市民ニーズに的確に対応できるよう迅速な出場や地球環境・省エネルギーに配慮した庁舎の設計及び計画策定の検討を行うことで、より効果的な災害対応能力の向上につながる事業を実施することができた。
						うち一般財源		13,812	48,138	16,634	
						主な 内 訳	報酬・負担金	51	0	3,875	
							委託料	13,759	40,316	5,600	
							使用料及び賃借料	8,802	7,566	12,679	
							需用費・役務費	0	256	80	
工事請負費							0	0	530,400		
人件費(b)						12,300	12,300	12,300			
年間経費(c)=(a)+(b)		34,912	60,438	564,934							
No.	事業番号	090-006	事務事業名	消防庁舎維持管理事業	所管局	消防局	所管課	総務課	分類	D 建設・整備事業	
4	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上				ターゲット	11.5,11.b			
	取組の方向性	①危機対応力の強化			主な取組		「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進				
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
	○消防庁舎について、保守点検等委託業務を実施 ○令和3年度実績 ・消防庁舎清掃業務 (19施設) ・冷暖房設備保守点検業務 (22施設) ・自家発電設備保守点検業務 (18施設) ・その他の庁舎設備保守点検業務 ○消防車両等 (消防艇含む) 及び消防資機材について、車検・点検など、適宜修理を実施					事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	例年実施している業務委託や各種資器材点検について、仕様の見直し等を行いながら事業を実施している。令和3年度は、一部庁舎で不衛生とならない範囲で、日常清掃の回数を減らすことによりコスト削減を図った。今後も市民・職員の衛生環境を確保しながら、引続き費用対効果の観点から最適な庁舎管理となるよう努める。
						うち一般財源		302,404	262,154	347,745	
						主な 内 訳	電気使用料	62,611	72,490	66,780	
							水道使用料	28,089	30,086	33,926	
							施設・物品等修繕料	121,461	113,287	142,128	
							維持管理委託料	56,354	57,367	104,009	
その他							52,089	61,491	79,369		
人件費(b)						12,300	12,300	12,300			
年間経費(c)=(a)+(b)		332,904	347,021	438,512							

事業概要一覧表

No.	事業番号	090-010	事務事業名	消防局安全衛生健康管理事業	所管局	消防局	所管課	人事課	分類	C 内部管理事業	
5	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上				ターゲット	11.5,11.b			
		取組の方向性	①危機対応力の強化				主な取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進			
	事業内容			投入量 (単位:千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	○労働安全衛生法に基づく安全衛生管理体制の整備充実 ○健康診断等の健康管理及び感染予防対策にかかる経費の支出			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	職員における安全衛生管理体制の重点項目として、職員の健康管理と衛生管理に取り組んだ結果 ・医療機関への至急受診率の向上(R3年度100%) ・喫煙率の低下(R1年度34.8%、R2年度24.9%、R3年度25.2%)R3年度は喫煙率が増えてしまった要因は、消防事務委託に伴い職員が増加したことであると考え、引き続き取り組みを継続する。 など安全安心の職場づくりに繋がっている。		
				うち一般財源		9,143	10,590	11,577			
				主な 内 訳	健康診断料	8,026	9,758	10,123			
					ワクチン予防接種手数料	1,014	792	1,222			
					包布等クリーニング手数料	117	44	236			
					診断書取得費	4	14	14			
人件費(b)				2,430	2,460	2,460					
年間経費(c)=(a)+(b)		11,591	13,068	14,055							
No.	事業番号	090-011	事務事業名	消防局職員研修事業	所管局	消防局	所管課	人事課	分類	C 内部管理事業	
6	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上				ターゲット	11.5,11.b			
		取組の方向性	①危機対応力の強化				主な取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進			
	事業内容			投入量 (単位:千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	○消防庁に置かれる教育訓練機関等への職員研修派遣 ○職員の資格取得にかかる経費の支出 ○外部講師による委託研修にかかる経費の支出 【令和3年度実績】 ・消防大学校：総合教育・専科教育 ・大阪府立消防学校：初任教育・専科教育・幹部教育 ・大型自動車運転免許取得講習 ・その他			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	各部門の業務が高度化し、より専門的な知識・技術の習得が求められていることから、役職や経験年数に応じ、各種教育機関等への派遣を計画的に実施している。 また、派遣後においては、身に付けた知識や技術を他の職員へフィードバックする機会を設けるなど、指導者育成においても強化し効率的な人材育成を行っている。 なお、費用削減を目的として、職員研修を自主参加型に変更し、受講に伴う時間外手当削減に取り組むとともに、オンライン研修を推進することで、移動に伴う旅費や燃料費の削減にも努めている。		
				うち一般財源		16,062	19,554	20,669			
				主な 内 訳	研修参加負担金	6,864	11,479	11,715			
					研修旅費	2,580	4,007	4,224			
					研修委託料	5,966	3,605	4,100			
					研修役務費	389	282	341			
使用料及び賃借料				263	181	289					
人件費(b)		2,430	2,460	2,460							
年間経費(c)=(a)+(b)		18,492	22,014	23,129							

事業概要一覧表

No.	事業番号	090-014	事務事業名	消防水利整備事業	所管局	消防局	所管課	警防課	分類	D 建設・整備事業		
基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~				SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを				
	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.7				
	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進					主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
7	消火栓以外の消防水利が存在しない空白地を対象として、耐震性防火水槽を新規設置している。 また、既存の公設防火水槽のうち、耐用年数50年を経過した経年防火水槽を対象に、耐震補強工事や劣化状況を把握するための調査設計業務を実施している。 【R3実績】 ・耐用年数50年を経過した経年防火水槽の劣化状況調査 (4基) ・耐震補強設計 (2基)				事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	公費による新規設置はライフサイクルコストの削減等の観点から凍結し、開発指導による施設引継及び開発者管理の私設防火水槽の設置を推進している。 経年防火水槽の老朽化対策は、従来、撤去して新規設置する必要があったものを、既存の構造体を利用して耐震補強を行い、現行の耐震基準を満たしさらに50年使用できる設計・施工を推進している。		
					うち一般財源		44,176	27,790	30,820			
					主 な 内 訳	防火水槽新規設置	7,176	11,990	820			
						経年防火水槽老朽化対策	21,104	0	0			
						施設等修繕等	22,309	27,475	30,000			
							763	315	820			
					人件費(b)		8,200	24,600	24,600			
年間経費(c)=(a)+(b)		52,376	52,390	55,420								